

かぜ組 日中は汗をかきほど暑くても朝晩は肌寒く感じるようになりました。運動会

ジョギングや散歩に行った後はたくさん汗をかいているので、シャワーをしています。そうすることで心身共にスッキリとした気持ちで次の活動へと移れます。もうしばらくはタオルの準備を引き続きお願いします。

野菜の種を植えたよ

夏にはたくさんのトウモロコシとトマトを収穫し、みんなで美味しく食べることができました。育てた野菜を収穫し、食べるという経験は嬉しいことで子どもたちもとても楽しんでいました。さて、秋はどんな野菜を育てよう...と考える色々な野菜の名前が子どもたちから出ましたが、大根を育てることにしました。今回は一人ずつ場所を決め、種をまきました。収穫時にはみんなで大根ぬきが経験できればいいな~と思っています。

運動会ジョギング

昨年度は開催できなかった運動会です。今年度は短い時間ですが子どもたちの楽しむ姿を見てもらえればと思っています。運動会Tシャツを染めた時から嬉しくてワクワクした表情をしていた子どもたちです。「おうちのひとみにくるの?」と聞いたり、「はやくTシャツきたいな~」と心待ちにしています。運動会では4月から身体を動かして遊んできたことを取り入れ、楽しむ様子を見てもらえればと思っています。

- ・手や足を使って身体を動かす
- ・全身運動を楽しむ

がねらいです。

かぜ組になり、心身共に大きくなり、できることも増えました。そして自分でできるかどうか...という判断もついてきました。“できない”と思うと、そのままあきらめてしまうこともあります。心のどこかで“やってみよう”“できるようにになりたい”という気持ちがあります。その心の揺れに寄り添い、おうちの方と共に見守っていきたいと思います。



9月 かぜ・そら・たいようぐみ クラスだよ

朝晩が涼しくなり、秋の訪れを感じられるようになりました。子どもたちは運動会に向けてジョギングを楽しんでいます。運動会が無事に開催され、楽しんできた事や元氣張ってきた事もおうちの方に見てもらえるよう願っています。

そらぐみ

運動会ジョギング

プールが終わり、心も身体も開放して夏のあそびを楽しみ、「こんなことができるようになった」と自信をつけてきた子どもたち。4月から遊んできた三角馬ですが、苦手意識のあった子も、楽しそうに乗る友だちの姿を見て、「やってみよう」に少しずっ、心が動き、手すりを持って足踏みから始めてみる姿があります。“失敗するのは嫌だ”“でもやってみよう”と葛藤し、保育者にすすめられたからではなく、自ら思っていた行動は、根気強さにつながっているように思います。リレーはあそび方を伝えくり返し楽しむことができました。自分の順番が来たけれど、前に出るのを忘れたり、タッチが上手くいかず、タッチしていないのに次の人が走り出したり、トラックの内側を走ったり...勝負したい!と強く思っている子もいれば、走ること自体が楽しい子ども、ちゃんとできるかドキドキしている子どもと、今はまだそれぞれです。毎回振り返って、困ったことや、上手かったこと、嬉しかった、悔しかった気持ちを子どもたちに話してもらい、共有しています。金矢棒は足踏みまわり、前まわり、逆上がりと少しずつ自分のできそうなことに挑戦しています。何度も何度もやってみて、できるようになった時の「よっしゃー!!」という笑顔は光輝いています。できる、できないの表面的な部分でなく、それまでの過程で経馬する気持ちや心の揺れを保育者の方にも感じてもらいたいと思っています。

- ・リュックの中身は子どもと一糸者に確認しながら
- ・次の日の準備をして下さい

たいようぐみ

元気いっぱい楽しんで

9月は園庭や公園で運動会に向けての取り組みや、運動会ごっこを中心にご遊ばして頂きました。夏前から練習を重ねていた竹馬や、園庭に設置されている竹のぼりの棒を使い、取り組んできた竹のぼり、自分で三つ編みして作った縄での走り縄遊び、みんなはで応援し合い、全力で走る姿、同じチームの友だちと協力してバトンをつないでいく楽しさを感じて、毎回自然と笑顔。思うように出来なくて涙したり、苛立ちする姿もあり、苦戦しながらも友だちの姿から刺激を受け、「できた」という達成感を感じ、次の意欲へとつなげていくことが取り組み姿勢にあります。昨年度はコロナウイルスの影響で運動会ごっこの様子を直接見て頂くことが出来ませんでした。リレーの場面をしっかりと見て、去年の様子から成長を感じる場面が多くあります。先日、公園でリレーをした時、並んで「さあ始めよう!」と保育者がスタートのかけ声を言おうとすると、「あ!カあせせんわすれてる!」「えいせいおー!やろ!」と子どもたちから声があがり、それを聞いてチームが円陣を組んで「カを合せてえいせいおー!」と声を合わせてからリレーに臨む姿がありました。初めは、「負けたくらいのくんがおそろいせん。」(扱われて涙し、走るのを止めている友だちがいると)「もう~はややくまげせん」という声がかき交わってしまいましたが、「おくんががんばれ!」「たいていおくん!」とチームを盛り上げるような頑張る気持ちがこもった言葉、励みになる声が出てくるようになりました。何度も取り組んできたからこそ、芽生える仲間意識が垣間見える場面でした。自分1人の力だけでなく、友だちと協力して元氣張ること、感じる嬉しい気持ちや悔しい気持ちはもちろん、最後まで諦めず、一生懸命やり遂げる姿を大切にしています。竹馬では、乗る方にいよいよ次はその場乗り、名人乗りと出来る技を増やし、取り組んでいます。一人で乗るのが難しい子どもは、前に一歩踏み出す勇気を持つ、坂道などで感覚を掴む練習を重ねています。「おすかしん!」「もうおすかしん!」と声かけをする時、「おとうさん、おあまさんに見てほしい!」「すごいよ、いっしょにやろうよ!」とお家の方が見に来て下さるのを励みにして、元氣張る子どももいます。子どもたちにとって保育園最後の運動会が楽しく、1人ひとりが存分に力を発揮できる場になるよう努めています。10月は、運動会にお泊り保育に行事が増えます。体調管理に十分気を付け、たいよう組の子どもたちがパワフルに、来月も毎日楽しんで過ごしたいと思っています。

